

被害者の証言からみた慰安所運行状況

| 国(地域) | 氏名 | 連行年/歳 | 連行地 | 連行方法 |
|-------|----------|----------------|---|--|
| 朝鮮 | 金学順 | 1941(17) | 北京郊外(中国) | 北京の食堂を出たところで無理やり日本軍人にトラックに乗せられた。 |
| | 李玉善 | 1942(15) | 延吉(満州) | 買い物に行く途中で日本人と朝鮮人の男に捕まり、トラックの荷台に押し込まれた。 |
| | 姜德景 | 1944(16) | 富山から | 女子勤労挺身隊で富山の不二製糖工場へ。逃げ出したところを憲兵に捕まり連行。 |
| | 姜日出 | 1943(16) | 長春・牡丹江(満州) | 両親の留守中に家に来た日本人と朝鮮人の巡査と軍人が来て連れ出された。 |
| | 朴玉善 | 1941(17) | 穆稜(中国) | 小川で水を汲んでいる時に、腕章の日本人の男に両腕を抱えて引きずられてトラックに。 |
| | 沈達連 | 1939、40(12、13) | 台湾・満州・サハリン | 野草を摘んでいた時に帽子をかぶった2、3人に捕まえられて車に乗せられた。 |
| | 文玉珠 | 1940(16) | 東安省 | 友達の家から帰る途中、軍服の日本人に腕を引っ張られて連れて行かれた。 |
| | 鄭学録 | 1937(12) | ハルビン(満州) | 釜山の海辺にいたところを日本軍人に抑えられトラックに乗せられた。 |
| | 李容珠 | 15歳 | 新竹(台湾) | 家にいるところを女性に手で招かれて、出て行ったところを軍人に連れて行かれた。 |
| | 盧清子 | 1937、38(17) | 満州 | 10人ぐらいの軍人に手足を捕まえられ、トラックに乗せられた。 |
| | 沈美子 | 1940(16) | 福岡(日本) | 警官に些細なこととがめられて警察の連行され、その後、福岡に。 |
| | 池ト伊 | 1945(22) | 石門子(満州) | 見知らぬ女に騙された。 |
| | 朴頭理 | 1940(17) | 彰化(台湾) | 村に来た50代ぐらいの日本人に「日本の工場入ってあげろ」と騙された。 |
| | 黃錦周 | 1941(20) | 吉林からトラックで(満州) | 日本人の班長の妻の「一家に一人、日本の軍需工場で3年契約で働かなければいけない」と言われた。 |
| | 河床淑 | 1944(17) | 武漢(中国) | 2人の朝鮮人男性に騙された。 |
| | 文必ギ | 1943(18) | 満州 | 村の男に「勉強ができてお金が儲かる所に連れて行ってやる」と騙された。 |
| | 朴酉年 | 1938(18) | 広東(中国) | 40代の朝鮮男性に「お金にもなるし、きれいな着物も着られる」と騙された。 |
| | 吉元玉 | 1940(13) | ハルビン(満州) | 妓生学校に通っていた時、「満州に行けば稼げろ」と言われて友達と行った。 |
| | 文玉珠 | 1942(18) | マンダレー(ビルマ) | 友達に「お金をたくさんくれる食堂に行こう」と誘われ2人の朝鮮人と旅館に連れて行かれた。 |
| | 金福童 | 1941(14) | 広東・シンガポール・マレー半島・インド | 区長と班長がカーキ色の服の日本人と来て「挺身隊(軍服を作る工場)に出さない」と騙された。 |
| | 金君子 | 1942(17) | 暹春(満州) | 巡査の養父に「お金が儲かるから行け」と言われた。 |
| | 金ソラン | 1944(18) | マニラ/クラーク飛行場(フィリピン) | 「病院で包帯を洗ったり片づける仕事でお金がもらえる」と騙された。 |
| | 張秀月 | 1941(17) | チチハル(満州) | 工場の日本人監督に「いい稼ぎがある」と騙された。平壤駅には警察官がいる。 |
| | 宋神道 | 1938(16) | 武昌(中国) | 42、43歳の女性に「戦地に行けば国のために働くにいいし、結婚しなくてもいい」と騙された。 |
| | 文明今 | 1935(19) | 孫吳(満州) | 見知らぬ人に騙された。 |
| | 喪サンヨブ | 1937(13) | 包頭(満州) | 騙されて連行。 |
| | 朴莫達 | 16歳 | 長沙(中国) | 朝鮮人の男に「ご飯炊きの仕事」と騙された。 |
| | 盧寿福 | 1942(21) | シンガポール | 日本人巡査に騙された。 |
| | 沈愛珍 | 1942(14) | ハルビン・遼口(中国) | マツリ屋で働いていた時、店に来た朝鮮人と日本人に「いい着物も着られるしお金も稼げろ」と騙された。 |
| | 李鳳和 | 1933(13)? | 「北支」(中国) | 朝鮮人の男に「うちにに行けばご飯も一杯食べられきれいな着物も着られる」と騙された。 |
| | 朴必蓮 | 1940(20) | 天津(中国) | 紡績工場の主人に「子守の仕事をしなさいか」と騙された。 |
| | 喪泰奇 | 1943(29) | 漢嘉敷島(沖繩) | 日本人と朝鮮人の「紹介人」の男に「仕事せんで金儲かるところがある」と騙された。 |
| | 朴永心 | 1939(17) | 南京・ラオス・拉孟(中国・ビルマ) | 日本人の巡査に「お金が稼げるいい仕事がある」と騙された。 |
| | 朴相玉 | 1943(17) | 順川(朝鮮半島) | 区長が「処女供出だ」と言って村の娘たちと連れだされた。 |
| | 郭金女 | 1939(16) | 穆稜(満州) | 製紙工場に事務室で日本人の監督と警察官に「明日、京城の食品工場に行くことになった」と言われた。 |
| | 李桂月 | 1937(15) | ハルビンから松花江を渡って(満州) | 村の区長に「仕事を斡旋する」と騙された。駅には2人の日本軍人がいた。 |
| | 李宗女 | 1943(21) | 仁川(朝鮮半島) | 村の区長に「仁川のゴム工場で働けばお金をたくさん稼げる」と騙された。 |
| | 金英淑 | 1940(13) | 瀋陽(満州) | 日本人の巡査が来た時、奉公先の主人に「綺麗な服を着てお金をたくさん稼げる所に行こう」と騙された。 |
| | 河順女 | 1937(19) | 上海(中国) | 買い物で外出した時、日本人と朝鮮人の男に「金儲けができる仕事がある」と騙された。 |
| | 李順徳 | 1937(17、18) | 上海(中国) | 畑の畔で朝鮮人の男に「履物も着物もやる。腹一杯食べられる所に連れて行ってやる」と騙された。 |
| | 金耀伊 | 1942(15) | ラバウル(バブアニューギニア) | 掃宅途中、日本人と朝鮮人の男に「倉敷の軍需工場にお金を稼ぎに行かないか」と騙された。 |
| | 李貴粉 | 1937(12) | 彰化・高尾(台湾) | 日本人と朝鮮人の男に「お父さんが呼んでいる」と騙され連行。1942年(17歳)に軍人が高尾特攻隊の慰安所に連行。 |
| | 朴福順 | 1938(17) | 石家荘他(中国) | 「日本人の紹介するいい働き口がある」と騙された。 |
| | 金福善 | 1944(18) | ラングーン(ビルマ) | 日本人と朝鮮人に「日本の工場に働きに行けば、1年もすれば嫁入り支度ができる」と騙された。 |
| | 白ノブテギ | 1939(18) | 南京(中国) | 夫に売られ、3人の朝鮮人の男に日本人に渡された。 |
| | 喪春姫 | 1941(18) | チャムス(満州) | 女街に騙された。 |
| | 朴ウドク | 1935(17) | 青島・上海(中国) | 女街に騙された。 |
| | ヒョン・ビョンズ | 1934(18) | 九江(中国) | 女街に騙された。 |
| | 張春月 | 1936(17) | 広水(中国) | 父に売られた。 |
| | 洪江林 | 1938(17) | 奉天・上海・長沙(中国) | 親にも黙って、50歳ぐらいの女性に奉天に連れて行かれた。騙されて売られた。 |
| 林金フア | 1939(17) | 沙市(中国) | 知り合いに「良い服が着られ金儲けもできる」と騙され、その後売られた。逃げ出したがまた売られた。 | |
| 金順玉 | 1943(21) | 東寧(満州) | 妓女に登録。東寧に売られていった。 | |

| 国(地域) | 氏名 | 連行年/歳 | 連行地 | 連行方法 |
|-------|-----|----------------|-----------|---|
| 中国 | 劉面換 | 1943(15) | 山西省孟県(中国) | 日本兵に家族全員が外に出され、両手を縛られて進圭村の日本軍の駐屯地に連れていかれた。 |
| | 李秀梅 | 1942(15) | 山西省孟県(中国) | 日本兵4人が自宅に押し入り、母を殴り奪われ進圭村の日本軍の駐屯地に連れていかれた。 |
| | 周喜香 | 1944(19) | 山西省孟県(中国) | 抗日運動の共産党の会合中、日本兵に襲われ、進圭村の日本軍の駐屯地に連れていかれた。 |
| | 陳林桃 | 1943(20) | 山西省孟県(中国) | 村で会議をするからと呼ばれ、日本兵と清郷隊に進圭村の日本軍の駐屯地に連れていかれた。 |
| | 侯巧蓮 | 1942(13) | 山西省孟県(中国) | 日本兵と清郷隊に、抗日村長の父と5人の女性と共に捕えられ、進圭村の日本軍の駐屯地に連行された。 |
| | 郭喜翠 | 1942(15) | 山西省孟県(中国) | 姉の家にいたところを日本兵と清郷隊が来て、八路軍に協力した姉の夫一家と共に進圭村の日本軍の駐屯地に連行された。 |
| | 侯冬娥 | 1942(21) | 山西省孟県(中国) | 隠れていた穴倉から引きずり出され、包圍していた日本軍に、進圭村の日本軍の拠点に連行された。 |
| | 万愛花 | 1942(13) | 山西省孟県(中国) | 抗日運動に従事していたため拷問、脱走したが捕まり、3回駐屯地に連行された。 |
| | 楊時珍 | 1941(17) | 山西省孟県(中国) | 河東村に侵入した日本兵に輪かんされ、拉致されて下士官専用とされ、連れまわされた。 |
| | 高銀娥 | 1941(16) | 山西省孟県(中国) | 南社虐殺事件の時に、村人らと河東村の日本軍の砲台に連行された。 |
| | 高二儀 | 1942(19) | 山西省孟県(中国) | 目をつけられて捕えられ、日本軍砲台に連行・監禁された。1年半、下士官に強かんされ続けた。 |
| | 王改荷 | 1942(23) | 山西省孟県(中国) | 村の抗日組織を急襲した日本兵に捕えられ、河東村に連行。 |
| | 張先兎 | 1941(15) | 山西省孟県(中国) | 村を急襲した日本兵に拉致され、河東砲台に連れて行かれた。 |
| | 趙潤梅 | 1941(16) | 山西省孟県(中国) | 西應虐殺事件の時、日本兵は養父母に顔死の重傷を負わせ趙さんを強かん、河東砲台に連行した。 |
| | 尹玉林 | 1941(19) | 山西省孟県(中国) | 河東村を支配した日本兵に自宅に強かんされ、日本軍砲台にも連行された。 |
| | 趙存妮 | 1942(24) | 山西省孟県(中国) | 日本軍が村を急襲した時、村人たちと逃げようとしたが、満足だったため捕えられ連行された。 |
| | 周粉英 | 1938(21) | 江蘇省(中国) | 家で被爆をしていた時に村長の弟に「日本軍の命令だ」と捕えられ、手足を縛られ手押し車で慰安所に連行された。 |
| | 韋紹蘭 | 1944(20) | 桂林(中国) | 隠れていた洞窟を出たところを日本兵に捕えられ、6、7人の女性と日本軍のトーチカに連れて行かれた。 |
| | 趙 | 17歳 | 天津(中国) | 日本軍が妓女を供出するよう命令。手先の中国人が妓女を捕まえてトラックに乗せて連行した。 |
| | 袁竹林 | 1940(18) | 湖北省鄂城(中国) | 「旅館の従業員の仕事がある」と騙され、船で日本軍区に連行された。 |
| | 陳鳳福 | 1941(14) | 海南島(中国) | 畑で働いていたところを日本兵に襲われ、籠で叩かれ駐屯地に連行。その後藤橋の慰安所に。 |
| | 邱玉民 | 1943 | 海南島(中国) | 農作業をしていて日本兵に強かん。自宅から10キロ離れた日本軍駐屯地に連行された。 |
| | 林玉金 | 1943(19) | 海南島(中国) | 日本兵に後ろ手に縛られて駐屯地に連行され、その後、数か所を移動させられた。 |
| | 譚玉蓮 | 1943(18) | 海南島(中国) | 戦地後勤服務隊の仕事に日本兵に強かんされ、掘立小屋に入られた。 |
| | 陳聖洞 | 1941、42(16、17) | 海南島(中国) | 戦地後勤服務隊の仕事に日本兵に強かんされ、掘立小屋に入られた。 |
| | 譚金玉 | 1943(14) | 海南島(中国) | 山に押し入った日本兵に強かんされ、山に隠れたがその後駐屯地に連行され、昼は作業、夜は強かんされた。 |
| | 黃玉鳳 | 1943(0) | 海南島(中国) | 日本軍の協力者に脅迫され日本兵に引き渡され、強かん。その後、昼は作業、夜は駐屯地の小部屋で強かんされた。 |
| | 黃有良 | 1942(14) | 海南島(中国) | 自宅にやってきた日本兵に強かんされ、数日後、村の駐屯地に連行される。1年後には藤橋の慰安所へ連行された。 |

| 国(地域) | 氏名 | 連行年/歳 | 連行地 | 連行方法 |
|-------|-----|----------|-------------|---|
| 台湾 | 鄭陳桃 | 1942(19) | アンダマン(インド洋) | 派出所のワタナベ巡査に「学校に送ってやる」と言われ、車に乗せられ旅館に連れて行かれた。 |

| 氏名 | 生年 | 国籍 | 経緯 |
|---------------|----------|--------------|--|
| 高宝珠 | 1938(17) | 広東(中国)・ビルマ | 役所から招集の通知があり、「日本軍のために働くように」と言われ、行った先が慰安所だった。 |
| 黄阿桃 | 1943(20) | バリババ(インドネシア) | 「南洋で、看護婦の助手や炊事の仕事がある」と騙された。 |
| 蘇寅嬌 | 1943(20) | 海南島(中国) | 「働き口がある」と騙されて海南島の慰安所に連行された。 |
| 李淳 | 1942(22) | フィリピン | 区役所の仕事の抽選に応募、騙されてフィリピンに連行された。 |
| イアン・アベイ(タロコ族) | 1944(15) | 台湾 | タネムラ巡査に日本軍の部隊の雑作業を命じられ、その後「慰安婦」に。 |
| イワル・タナハ(タロコ族) | 1944(13) | 台湾 | 派出所の「ツバキ」に日本軍の部隊で雑作業を命じられ、その後「慰安婦」に。 |
| トモ・カグ(タイヤル族) | 1944(16) | 台湾 | 警官の「カワハラ」に日本軍の部隊で雑作業を命じられ、その後「慰安婦」に。 |
| 盧滿妹 | 1943(17) | 紅砂(海南島) | 「看護婦の助手などの仕事がある」と騙されて、海南島の慰安所に連れて行かれた。 |
| 李楊玉串 | 1943(22) | ボルネオ | 知人に食堂の仕事があると誘われた。 |
| 呉桂英 | 1942(17) | 海南島 | ウエイレスの仕事があると騙された。 |
| 蔡秀妹 | 1939(23) | 広州ほか(中国) | 養母に売られて接客業に、海外で仕事をして早く自由の身になりたいと募集に応じた。 |
| 陳蓮花 | 1942(17) | フィリピン | 工場の上司から看護婦の仕事があると騙された。 |
| アニコ(李温紅補=ブズン) | 1942(22) | 香港 | いい仕事があると駐在所の警官に言われ、軍属として徴用中の夫にも会えると思って応募した。 |
| 雷春芳(タロコ) | 1944(31) | 台湾 | 駐在所の婦長で日本軍部隊の雑用をするうちに、軍人から強姦される。 |

| 国(地域) | 氏名 | 連行年/歳 | 連行地 | 連行方法 |
|-------------|----------------|-------------|---|---|
| フィリピン | アナスタシア・コレテス | 1943(19) | マニラ | 日本兵に自宅を襲われ、縛られてトラックで(夫と共に)サンチャゴ要塞へ連行された。 |
| | アンダ・レガラ | 1944(35) | サンイルデフォンソ(ルソン島) | マキシマの母親、市場に行く途中娘と一緒に日本兵に捕まり、近くの駐屯地に連行された。 |
| | アモニタ・バラバディア | 1943(13) | イサペラ州(ルソン島) | 川で洗濯をしていた時に日本兵に連行された。 |
| | アンドレア・フェルナンデス | 1943(14) | レイテ島 | 早朝、泉で水浴後、タナカという将校に捕まり駐屯地まで連行された。 |
| | ヴァージニア・ヴァルルマ | 1943(14) | マニラ | 通行中、日本軍に連行された。南端頭の駐屯地 |
| | ヴァレラ・ランサローテ | 1942(17) | イロイロ州(パナイ島) | 通行中、日本兵に連行された。 |
| | エステリア・サラス | 1942(15) | カピス州(パナイ島) | 自宅から日本兵に引きずられるようにされ連行された。 |
| | オルデンシア・マルディネス | 1943(16) | マニラ | 自宅に侵入した日本兵から銃剣を突き付けられて、父と共に駐屯地に連行された。 |
| | カリーナ・オファルサ | 1943(13) | ソルソン州(ルソン島) | 長兄と二人で家にいた時、突然日本兵に襲われ駐屯所へ連行された。 |
| | カリーナ・レソソ | 1943(29) | マルベラ(ミンダナオ島) | 山間部の避難所で料理中、日本兵に銃剣を突き付けられたまま駐屯地へ連行された。 |
| | カレンシア・ラマル | 1942(15) | ブラコン州(ルソン島) | 買い物に行く途中、草むらにいた日本兵に銃剣を突き付けられ辱められて、駐屯地に連行された。 |
| | クリスティーナ・アルコベル | 1943(16) | ダクパン市(レイテ島) | 銃や刀を持った日本兵に弟と共に駐屯地に連行され、タコつぼ堀りなどの重労働をさせられ、強かん。 |
| | コリアン・メロン | 1943(13) | アクラ州(パナイ島) | 水汲みからの帰途、30人の部隊によって連行された。 |
| | エドラーダ・アヤオ | 1944(30) | ボホール島 | 食料をとりて生火へ帰ったところを日本兵に腕をつかまれ、連行された。 |
| | サビーナ・ヴィレガス | 1942(16) | パンパンガ州(ルソン島) | 日本軍を父を射殺。村の女性10人と林に連行され強かん。翌日駐屯所へ連行された。 |
| | シメオン・ラニール | 1943(13) | ルソン島 | 日本軍が兵舎にしたマリンダ小学校まで連行された。 |
| | シメオン・ラニール | 1943(18) | リサル州(ルソン島) | ミサに行く途中、樹上から日本軍に発砲され、突き飛ばされて失神、車で連行された。 |
| | デオネシア・アマビト | 1943(18) | ラバプ市(マクタン島) | 買い物に行く途中、通って3人の日本兵に捕まり、強かんされた後に連行された。 |
| | テオドラ・コロン・インテス | 1942(14) | ネグロス島 | 市場で野菜や米を売っていた時にトラックで日本兵に捕らえられ連行された。 |
| | トマサ・サリグ | 1942(13) | サンホセ(パナイ島) | 就寝中に日本兵が押し入り、抵抗した父は首をはねられ、サリグは引きずり出されて連行された。 |
| | ナルシサ・ラバリア | 1943(14) | バリトゥグ(ルソン島) | 自宅にやってきた日本兵に父母と幼い妹を殺され、3姉妹と一緒に駐屯地に引きずられて行った。 |
| | パニータ・サンテリアン | 1943(15) | バンダ(パナイ島) | 山中の洞窟で日本兵に捕まり連行された。母も姉も幼児まで殺害された。 |
| | ピエタ・フレザ | 1943(22) | アクラ州(パナイ島) | 裏庭で草刈り中、日本兵に腕を強かんされた。 |
| | ピクトリア・ロベス | 1942(19) | サンフェルナド(ルソン島) | 自宅で洋服をしていた時、食糧調達にやってきた日本兵に駐屯地本部までトラックで連行された。 |
| | ピョフィカシオン・メルカド | 1944(21) | ソルソン州(ルソン島) | 参加していたグリタ・キャンプが日本軍に襲撃され、軍司令部へ連行された。 |
| | ビガール・プリアス | 1943(16) | ルソン島 | 家を焼かれて学校で暮らしていた時に日本兵がやってきて、縄で繋がれて連行された。 |
| | ヒリア・プスマンテ | 1943(17) | バスター州(ルソン島) | 川に水汲みに行った時、日本兵に腕をつかまれ車に乗せられ、隣の駐屯地へ連行された。 |
| | フェニタ・デヤ | 1944(14) | ソルソン州(ルソン島) | 川に水汲みに行った時に日本兵に捕まり、両手を縛られトラックで連行された。一緒にいた妹は強かん後殺害された。 |
| | フェンシア・ダヴィッド | 1942(14) | ダウォ州(ルソン島) | 市場で日本兵に辱められ、縛られ、ナイフで耳を切られて、連行された。 |
| | フェンシア・ハンボリーナ | 1944(10) | ソルソン州(ルソン島) | 早朝、寝ている時に乱入してきた数人の日本兵によって、グバの元市庁舎に連行された。 |
| | フェンシア・レイエス | 1943(14) | ミラゴス(マニラ) | 日本兵に小学校の教室まで連れ出され、学校の隣に隠された兵舎に監禁された。 |
| | フェリサ・ボルネレス | 1942(24) | カピス州(パナイ島) | 自宅に押し入った5人の日本兵により、駐屯地まで徒歩で連行された。 |
| | フランシスカ・アウスタリ | 1943(19) | サンタクルス(ルソン島) | 川で洗濯をしているとき、日本兵に連行された。3日目から強かん。 |
| | フリー・ボラス | 1944(15) | ダバオ(ミンダナオ島) | 昼食の準備中、日本兵に辱められ、こめかみに銃を当てられ、髪を毛をつかまれてトラックに乗せられた。 |
| | フリー・カニエド | 1943(25) | マニラ | 日本兵に自宅から屋外へ連れ出され、車に乗せられて連行された。 |
| | フレシヤ・バルニコ | 1942(17) | ブラウエン(レイテ島) | グリタ討伐にやってきた日本兵に捕まり強かんされた後に駐屯地内の小屋に連行された。 |
| | ペドロリス・アン | 1943(13) | ロス(パナイ島) | トラックに乗った日本兵が自宅に押し入り、抵抗した父母を殺害の後に連行された。 |
| | ヘルテルデス・バリサリサ | 1944(25) | ビコール(ルソン島) | 巾着を掲げた日本軍の車がやってきて自宅から連れ出され、駐屯地に連行された。 |
| | マキシマ・レガラ | 1944(19) | サンイルデフォンソ(ルソン島) | 母親と市場に買い物に行く途中で日本兵に捕まり、駐屯地に連行された。 |
| | マリヤ・カンボ | 1943(18) | サマール島 | 日本兵に銃剣を突き付けられ、両手を前に縛られて兵舎へ連行された。 |
| | マリヤ・フェンテリアン | 1942(22) | マニラ | 父の経営する食堂で働いていた時、日本兵に暴力的に連行された。 |
| | マリヤ・マナレス | 1942(14) | マニラ | 川で遊んでいる時、日本兵がくれたキャンデーにつられ、海軍艦艇に乗せられ連行、船上で監禁された。 |
| | マリヤ・ロサ・ルナ・ハンソン | 1943(15) | マニラ | 検問所で日本兵に呼び止められ、そのまま日本軍の駐屯地に連れて行かれた。 |
| | ミラゴス・アト | 1942(14) | セブ(セブ島) | 日本軍の洗濯をしていた母の手伝いで司令部に入りすうちに知り合いになった日本兵に強姦された。 |
| | メリア・クラベリア | 1943() | バリトゥグ(ルソン島) | ナルシサの妹、自宅から(3姉妹で)日本兵に駐屯地まで連行された。 |
| | リディア・アントニオ | 1944(21) | マニラからブラコン州へ | マニラからブラコン州へ食糧をもらいに行く途中、検問所で日本兵に捕まり、「慰安所」に連行された。 |
| | ルピタ・サ | 1944(15) | ルサガライ(ルソン島) | 朝食を食べた時に日本兵が押し入ってきた。両親と姉が惨殺され、私は連行された。 |
| | ルフィナ・フェルナンデス | 1944(17) | マニラ | 寝ていた時に押し入ってきた日本兵に父母と4人の妹は殺され、日本軍の車で連行された。 |
| | レニーナ・カヤナ | 1942(12) | ブラコン州(ルソン島) | 母を強かん・殺害した日本兵により駐屯地へ連行された。 |
| | レメディア・フェリアス | 1942(13) | ブラウエン(レイテ島) | 従姉妹の誕生祝いの最中に日本軍に襲撃され、強かん後連行された。 |
| レメディオ・バレンシア | 1943(23) | マニラ | 市場で魚を売っていた時に3人の日本兵に抱きかかえられるようにして連行された。 | |
| ロザリオ・ノブエ | 1944(17) | ミラゴ(パナイ島) | 隠れていた洞窟から食糧を取り自宅に帰る途中で、日本兵に捕まり連行された。 | |
| ロニータ・ナシオ | 1944(16) | イロイロ(パナイ島) | 祖母の家に行く途中で6人の日本兵に拉致され、近くの日本軍の駐屯地に連行された。 | |
| ロベルト・バカリヤ | 1942(17) | ナガ(セブ島) | おじいさんの家での世話をしている時に日本兵に捕まり、手をはらわれて駐屯地に連行された。 | |
| ロータ・フランドリア | 1943(15) | ソルソン州(ルソン島) | 石鹸を買いに行く途中、日本兵に銃剣を突き付けられ、トラックに乗せられ連行された。 | |
| ワニタ・ハモット | 1944(20) | マニラ | 日本兵にアパートを襲撃され、男たちは刺殺され、ハモットは強かん後、駐屯所に連行された。 | |

| 国(地域) | 氏名 | 連行年/歳 | 連行地 | 連行方法 |
|--------|--------|----------|------------|-------------------------------------|
| インドネシア | マルディエム | 1942(13) | ボルネオ・トラワン | ハンザルマン市長正源寺の「ボルネオで芝居をする」という募集に騙された。 |
| | スハナ | 1942(16) | バンドン(ジャワ島) | 自宅の前でいたところを6人の日本兵に捕らえられ、慰安所に連行された。 |

| 国(地域) | 氏名 | 連行年/歳 | 連行地 | 連行方法 |
|-------|-------------|----------|----------|-------------------------------------|
| オランダ | ジャン・フ・オハーン | 1942(19) | スマランの慰安所 | アンバラワの第六捕留所で日本兵に連行され、慰安所に連行された。 |
| | エリ・コリー・ブローグ | 1942(19) | スマランの慰安所 | スマランのホルヘ・ヘイテ捕留所で日本兵に連行され、慰安所に連行された。 |

| 国(地域) | 氏名 | 連行年/歳 | 連行地 | 連行方法 |
|-------|---------|----------|-----------------|--|
| マレーシア | ロザリン・ソウ | 1943(27) | シンロックホテル(マレーシア) | 自宅にやってきた日本兵に幼い2人の子供を引き離され、無理やりトラックで連行。 |

| 国(地域) | 氏名 | 連行年/歳 | 連行地 | 連行方法 |
|--------|---------------------|--------|-----------------------|--|
| 東ティモール | マルタ・アブ・ベレ | 初潮前 | ボボナロ県マロボ | 道路工事に雇われ、その後日本軍に協力するクワイ(伝説的酋長)によって日本兵に引き渡され「慰安婦」にされた。 |
| | エスメラルダ・ボエ | 初潮前 | ボボナロ県メモ | 椰仕事の最中に日本軍の軍人から声をかけられ家族や村長の名前を尋ねられた。その夜地域のリラウ(日本人が自宅に来て、無理やり「シモムラ」という日本軍将校の家で連行された)。その後「シモムラ」を含む3人の将校に仕えさせられた。 |
| | マリヤ・ロザ・フェルナンダ・ノローニャ | 12歳 | ボボナロ県ボボナロ | 日本軍は村長やクワイを脅して女性を集めた。村長から「拒めば両親が殺される」と言われた。その後「オハラ」次に「タニキマ」という将校に占められた。 |
| | リム・ファイン | 14、15歳 | アイレウ県アイレウ | 中国人のボベラ(日本軍協力者)によって家から連行され、2年間日本軍の飯炊きをさせられた。その後中国人だけが集められた慰安所に入れられた。 |
| | ※エレナ・ピント | | ビケ県ウアカラバウ | 「慰安所」に連行されたが、その際に怪我を負ったためそこには置かれず、クワイの家で下働きをさせられた。 |
| | フランシスカ・マセド | | ロコバ県スアイ | 日本軍の命令を受けたダタルの村長に呼びつけられ、スアイのベマタにある慰安所に連れて行かれた。従わなければ殺すと言われた。 |
| | ジェラルダ・カルドソ | | ロコバ県スアイ及びベコ、ボボナロ県ボボナロ | 日本兵が村にきて男女をかき集めた。まずスアイに連れて行かれ居はサゴ椰子の加工、夜は「慰安所」で働かされた。次はベコに連れて行かれ同じことをさせられた。最後は日本軍の駐屯地があるボボナロに移され、ボボナロの「慰安所」で終戦まで働かされた。 |

| | | | |
|-------------------------|--------|--------------------|---|
| クレメンティア・カルドゾ | 17.18歳 | コパルマ県スマライ | 日本軍の命を受けたリウライ/村長によってワラ村の男女が強制集められ、スマライで道路工事をさせられた。日本軍の兵士は女性たちの小屋から気に入った者を兵舎に連れて行き、集めた女性たちに性の相手させた。 |
| ラウリンダ・フェレイラ | | | |
| ※エルダ・サルターニャ(家族による証言) | 初潮前 | コパルマ県スアイ | 日本軍がスアイで道路工事をすると、ベコトウアンから連行されて慰安所に入れられた(司令官名:「トリイ」「ミカズ」)。 |
| | | パウカウ県オッス | カテキストだった夫が日本軍に殺された後、日本軍に捕らえられ「ミヤハラ」という将校に終戦まで占有された。 |
| マルガリータ・ホルナイ | | マヌファヒ県キラス | 連行後「慰安所」から逃亡したが、村長が家族を呼び出し体罰を与えた。結局、捕まって「コマキ」という将校に強姦され慰安所に連れ戻された。 |
| マルセリーナ・ダ・コスタ | 初潮前 | マヌファヒ県コタララ及びパオルメンタ | 日本軍が催した祭で目をつけられ、リウライに命令が下った。リウライが従わないと銃と鞭を持った者が現れて脅した。両親やリウライの身を案じて従うと「ミチ」という名の軍人に引き渡された。終戦まで「ミチ」や「スミ」という将校に占有された。 |
| アリシア・プレゴ | | マヌファヒ県サメ | 日本軍が来たとき家族は彼女を山中に隠したが、日本軍の手下に騙されて山を下りたところ捕まった。日本兵に引き渡され「タカラキ」という将校にレイプされた。しかし、レイプされた後彼女は逃亡した。日本軍はリウライ・ドゥアルテを脅迫し、リウライは人々に命じ彼女を日本軍に引き渡した。彼女は終戦まで「タカラキ」に占有された。 |
| パミラ・バイシエコ | | マヌファヒ県サメ、ベタノ | 日本軍が来た時にサメから南岸のベタノまで逃げたが、結局日本軍に捕まって「オノ」という将校に占有された。 |
| ビルジニア・コスタ | | マヌファヒ県サメ | 日本軍の将校に言うことをきかぬば彼女も家族も殺されると脅され、従った。 |
| マリアナ・デ・アラウジョ・ダ・コスタ・マルケス | | マヌファヒ県サメ | 日本軍が来た時村長と母を山に逃がしたが、日本軍は捕まける男を通報された。その男は日本軍の命で女性を集めたが、マリアナは引き渡さず彼女をレイプした。その後リウライの叔父の家に身をよせたが、そこにも追及の手が及び、結局サメの慰安所に入れられた。 |
| イネス・デ・ジェスス | | ボゴナロ県オプト | 日本軍の命を受けたリウライ、ドミンゴスによってオプト村の「慰安所」に入れられた。村長には家も名前も知られているので逃げるなどできなかった。「慰安所」で生まれた子どもは日本軍の撤退時に奪われた。 |
| マダレータ・デ・ジェスス | | ボゴナロ県オプト | 同じくリウライ、ドミンゴスによってオプト村の「慰安所」に入れられた。日本兵は「おとなしくしないと首を締めて殺すと脅したりと語る。 |
| サラ・ダ・シルバ | 19歳 | パウカウ県パウカウ | 日本軍が来た時、パウカウのデラガタまで逃げたが、結局日本軍の手下に見つかり、パウカウのライスルライの「慰安所」に連れて行かれた。 |
| マリアナ・デ・ソウザ・フレイタス | | パウカウ県オッス | 日本軍はパウカウのブルコリまでやってきた。ある日日本軍の中尉が家に来てきて両親に彼女が欲しいと言った。親はそれを拒否することはありませんが、彼女は終戦までその軍人と暮らした。戦後彼女はその軍人の子どもを生んで育てた。 |

| 国(地域) | 氏名 | 連行年/歳 | 連行地 | 連行方法 |
|-------|----------|----------|---------------|---|
| 日本 | 城田すず子(仮) | 1939(18) | 台湾・サイパン・トラック島 | 父親の借金の形に遊廓に売られ、台湾の「海軍御用」の慰安所に。その後、サイパン島の慰安所に。 |